学校番号	413

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報Ⅱ　（実教出版）						
副教材等	ベストフィット情報Ⅰ（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次で学習した情報Ⅰの内容を振り返りつつ，発展内容として情報社会の進展について学び，データサイエンスやプログラミング言語，情報システムについても学びます。副教材については，情報Ⅰの振り返りや大学入学共通テストを意識した家庭学習に活用してもらいます。

２　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

多様的なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1章 情報社会の進展と情報技術	第1節 情報社会の進展 第2節 知的活動の変化 第3節 X-Tech による社会の変化 第4節 クラウドサービスの利用 第5節 法と制度の整備	a:情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展について理解している。 情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解している。 b: 情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会の在り方について考察することができる。 人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察することができる。 c:主体的に他者の意見を参考にすることができ、積極的グループワークなどの活動に参加し自身の意見を述べることができる。	確認テスト ワークシート 課題制作	ワークシート 発表 グループワーク 課題制作 行動観察	ワークシート グループワーク 課題制作 行動観察

	第2章　コミュニケーションとコンテンツ	第 1 節 メディアとさまざまなコンテンツ 第 2 節 コミュニケーションの多様化 第 3 節 コンテンツ制作	a: 情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解している。 多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している。 文字・音声・静止画・動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けている。 コンテンツを様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解している。 b:コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察することができる。 目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し、組み合わせを考えることができる。 情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善することができる。 コンテンツを社会に発信したときの効果や影響を考え、発信の手段やコンテンツを評価し改善することができる。 c:メディアの選択やコンテンツ制作について主体的に他者の意見や課題作品を参考にすることができ、積極的に自身の意見を述べることや課題制作に取り組み、かつ改善に取り組むことができる。	確認テスト ワークシート 課題制作	ワークシート 発表 グループワーク 課題制作 行動観察	ワークシート グループワーク 課題制作 行動観察 自己評価 相互評価

二学期	第3章 情報とデータサイエンス	第1節 データサイエンスと社会 第 2 節 データの収集 第 3 節 データの整理と変換 第 4 節 データの分析と可視化 第 5 節 統計的推測 第 6 節 機械学習の概要 第 7 節 回帰による分析 第 8 節 分類による分析 第 9 節 クラスタリングによる分析 第 10 節 評価と意思決定	a:多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解し技能を身に付けている。 データに基づく現象のモデル化やデータ処理を行い解釈・表現する方法について理解し技能を身に付けている。 データ処理の結果を基にモデルを評価することの意義とその方法について理解し技能を身に付けている。 b:目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形することができる。 将来の現象を予測したり、複数の現象間の関連を明らかにしたりするために、適切なモデル化や処理、解釈・表現を行うことができる。 モデルやデータ処理の結果を評価し、モデル化や処理、解釈・表現の方法を改善することができる。 c: モデル化やデータの処理を他者と協力し、主体的に結果の評価を意見交換することができ、積極的にモデル化や処理、解釈・表現を改善することに取り組むことができる。	確認テスト ワークシート 提出課題	ワークシート 発表 グループワーク 提出課題 行動観察	ワークシート グループワーク 提出課題 行動観察 自己評価 相互評価
	第4章 情報システムとプログラミング	第 1 節 情報セキュリティ 第 2 節 社会の中の情報システム 第 3 節 情報システムの分類 第 4 節 情報システムの開発 第 5 節 設計手法	a: 情報システムにおける、情報の流れや処理の仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している。 情報システムの設計を表記する方法、設計、実装、運用等のソフトウェア開発のプロセスとプロジェクト・マネジメントについて理解している。 b:情報システム及びそれによって提供されるサービスについて、	確認テスト ワークシート 提出課題	ワークシート 発表 グループワーク 提出課題 行動観察	ワークシート グループワーク 提出課題 行動観察

		第 6 節 Web システムの仕組み 第 7 節 データの送受信の方法 第 8 節 Web API 第 9 節 ファイル操作 第 10 節 データベースの操作 第 11 節 計測・制御システム	その在り方や社会に果たす役割と及ぼす影響について考察することができる。 情報システムをいくつかの機能単位に分割して制作し統合するなど、開発の効率や運用の利便性などに配慮して設計することができる。 c: 情報システムについてグループワークやペアワークを行い、積極的に参加し、課題等に主体的に取り組むことができる。			
三学期		第 11 節 JavaScript の基礎 第 12 節 Python の基礎 第 13 節 Python のモジュール	a: 情報システムを構成するプログラムを制作する方法について理解し技能を身に付けることができる。 b: 情報システムを構成するプログラムを制作し、その過程を評価し改善することができる。 c: プログラミング実習を通じて自身の作成したプログラムを他者と協働し、主体的に評価・改善することができる。	確認テスト ワークシート 実技課題	ワークシート 行動観察 実技課題	ワークシート 行動観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度